

第3回トママ地区公園ワークショップ「これからの公園づくり」報告書

日 時：令和2年11月28日(土) 午前9時30分から正午まで

場 所：トママコミュニティセンター（多目的ホール）・苔鶴神社周辺

参加者：(大人) 9名・(小中学生) 5名・(役場職員) 5名

1 目的

「住民参加・参画の推進」への取り組みとして行っているトママ地区公園整備の経過や公園づくりの考え方に対する理解を深めていただくとともに、現状を把握し、来年度以降の整備内容を検討することを目的に開催しました。

2 事前準備等

トママ地区については全戸配布、それ以外の地域については行政区回覧し、基本的には事前申し込みにより、不特定多数にならないよう参加者を把握しました。受付時においても消毒、検温及び名簿の作成しております。

3 当日の状況

当日の予定を説明してから、「Part 1 これまでの公園整備について」「Part 2 公園を歩いてみよう」「Part 3 何をつくり、どうやって楽しめば・・・」の3部構成で、参加者を2班に分けて意見を話しやすいように進行されました。

別室では、小さなお子様の預かりもしております。

9:40 挨拶・予定説明

9:45 Part 1 これまでのトママ地区公園整備について

基本計画での考え方と現在取り組んでいる考え方や、年度別にこれまで行ってきたことの説明です。

※ 説明資料は、別紙を参考にしてください。



10:00 Part 2 公園を歩いてみよう

全員でミナ・トママから幼児遊園エリア、森のエリアを整備の実施内容や課題を考えながら散策しました。



10:30 Part3 何をつくり、どうやって楽しめば・・・

過去に提案されていたものや、昨年のワークショップで話題になったものを参考にしながら、「公園でやりたいこと」「なぜしたいのか」「そのために必要なこと」「課題となること」を2班に分かれて話し合いました。最後に各班の代表者から説明してもらい、質問を受けております。

各班で話し合った内容は、次のとおりです。

● A班 7名

公園でやりたいこと	なぜ
1 川を綺麗にして遊びたい	・今の川は、臭くて足を入れるとぬかるみで遊べない ・綺麗になると生物の生息する環境も良くなる。
<必要なこと> ・川底のぬかるみを無くして、足を入れることのできるようにする。	
<課題> ・川の整備には、たくさんのお金が必要となる。	
2 脚立などで作業をできるように	・ロープなど道具があっても、高いところに手が届かない。
<必要なこと> ・道具の購入 ・技術の向上	
<課題> ・遊ぶための工夫や怪我をしない方法	
3 竹刀などを使って遊びたい	・健康的で楽しい。
<必要なこと> ・使用する物品の確認 ・遊ぶためのマナー等	
<課題> ・遊ぶための工夫や怪我をしない方法	

● B班 7名

公園でやりたいこと	なぜ
1 子供が公園で、用を足せるようにしたい。	・ミナ・トマムのトイレを使用すると管理人の負担になる。 ・不特定多数の人に使われたくないが、周辺に公衆トイレが無いことは不便だから。
<必要なこと> ・子供が使用できること。(段差・便器) ・衛生的なもので清潔感が必要 ・景観に配慮していること。(工事現場のトイレでは好ましくない。) ・臭気が気にならないこと。→汲み取り式でなくバイオトイレなどが良い。	
<課題> ・設置場所 ・予算が限られている中で必要なことをクリアするのは難しい。 ・バイオトイレは、使用し難い面もある。 ・冬場の使用(凍結対策) ・電気代等の管理コスト ・管理する人 ・汚物の処理	

2 斜面を利用した遊具	・現在の滑り台は、安全性に欠ける。 ・斜面を利用すると高所に上らないので安全性が高い。
<必要なこと> ・幼児遊園エリアの斜面を利用する。 ・安全性の確保 ・楽しい雰囲気 ・遊ぶ場所と駐車する場所をフェンスなどで仕切る必要がある。	
<課題> ・場所の選定（除雪に支障の無い場所） ・安全性 ・費用	
3 日陰での休憩（四阿の設置）	・保護者と子供が座って休憩できる場所が無い
<必要なこと> ・ベンチやテーブルの設置 ・屋根のある設備（雨対策・日陰）	
<課題> ・工事費用	
ワークショップでの話し合いの様子	
	

物置（基地）について
ワークショップで建てた物置は、番号キーで施錠しております。管理は、トナム支所で行っており、中の資材等も使用できるので、マナーを守って使うことが大切です。 今後は、住民の方がいつでも利用することができるよう、検討する必要があります。

12:00 閉会
